

ともに



～「ともに」「つなぐ」小中一貫教育～
小城市立小中一貫校芦刈観瀾校学校便り
第18号 令和7年12月12日(金)
文責：副校長 高柳 元

児童朝会 ～大切な命・いじめは絶対に許されない～

12月1日(月)、小学部の児童朝会を行いました。朝会では、「命の大切さ」と「いじめは決して許されない」という二つのテーマについて話をしました。「命」という文字には、ただ生きているだけでなく、「あなたには生きる意味がある」という深い意味が込められています。私たちは、与えられた大切な時間をどのように使うかを自分で選んでいます。誰かを笑顔にしたり、助けたり、優しい言葉をかけたりすることは、自分の命を美しく輝かせる使い方です。一方、相手の心や命を傷つける行為は、自分の時間を悲しい形で使うことになります。いじめは、命の輝きを奪ってしまう行為であり、どんな理由があっても許されません。子どもたち一人一人が、自分の命を精一杯輝かせ、同じように周りの人の命も大切にできる学校でありたいと願っています。

中学部百人一首大会

12月1日(月)～3日(水)、昼休みを利用して、玄関ホールで学芸委員会主催の「中学部百人一首大会」が行われました。上の句が読み上げられると同時に、素早く札へ手を伸ばす生徒たちの姿が見られ、その集中力と反応の速さに感心しました。

優勝:野口琥大朗さん・橋間翔さん/2位:田中柚妃さん・川田稟子さん/3位:古賀鈴奈さん・平野功士さん



人権の花運動

12月4日(木)～10日(水)は「人権週間」です。12月4日(木)には「人権の花贈呈式」が行われ、3年生が代表でお花を受け取り、これからお世話をしていくことになりました。人権擁護委員の方や法務局の方と一緒に、いただいたお花をプランターへ移植しました。「人権の花運動」の目的は、花を育てる体験を通して、命の大切さに気付いたり、思いやりの心を育んだりすることです。今回の活動をきっかけに、自分自身はもちろん、周りの人の人権を大切にする気持ちが、さらに育っていくことを願っています。



1年生秋のおもちゃまつり

12月5日(金)、1年生があしかりこども園の年長さんを招いて「秋のおもちゃまつり」を行いました。1年生は、年長児さんに楽しんでもらおうと、小城公園で拾ったどんぐりや落ち葉を使って、ボーリング、迷路、的当て、釣り、コマなど、さまざまな遊び場を工夫して作りました。当日は、みん

なで一緒に「どんぐりころころ」を歌ったり、1年生が遊び場の紹介やお世話をしたりしました。また、手作りのまっぼっくりけん玉のプレゼントもあり、温かく楽しい交流の時間となりました。



5年生豆腐作り

12月5日(金)、5年生がふるさと先生と JA 芦刈支部女性部の方々に教わりながら、豆腐作りに挑戦しました。子どもたちは、畑の土作りから始め、種植え・水やり・草取り・収穫まで、大豆の成長を大切に見守ってきました。その大豆を使った今回の豆腐作りでは、事前学習で作り方を確認し、準備を整えて本番に臨みました。当日は、グループで役割分担をしながら協力して作業を進め、ついに手作り豆腐が完成しました。自分たちで育てた大豆から生まれた豆腐の味は格別で、みんな笑顔でおいしさを味わっていました。



中学部人権集会

12月8日(月)、中学部で人権集会を行いました。この集会は、身近にある差別やいじめといった人権侵害に気づき、正しく見抜き、決して許さない心を育てることを目的としています。また、これらの課題を自分自身の問題として捉え、真剣に考え、仲間とともに解決していこうとする態度や力を養うこともねらいとしています。当日は、平和集会実行委員から人権や脳の仕組みについての話を聞き、全員で人権宣言(いじめ0宣言)を行いました。その後、各学級で振り返りを行い、一人一人が「いじめ防止標語」を考え、言葉に表しました。自分の思いを込めた標語づくりを通して、人権を大切にする心がさらに深まった集会となりました。



人権作文・ポスター入賞者

12月6日(土)ドゥイング三日月で小城市人権ふれあい講演会が開催され、その会の中で「全国中学生人権作文コンテスト」と「じんけん啓発ポスター」の表彰式が行われました。

★全国中学生人権作文コンテスト佐賀県大会 入選

嘉村有紗さん / 平野百華さん / 末永莉音愛さん / 中元寺悠希さん / 樋渡琴音さん

★じんけん啓発ポスター 入選

嘉村有紗さん / 久原瑞輝さん / 平野百華さん

